

## 代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。一雨ごとに温かくなりましたが皆様はお変わりございませんか。日本中が歓喜に沸いたWBC（ワールドベースボールクラシック）準決勝のメキシコ戦、今回あたりがなかった村上選手のさよならヒット。栗山監督は『必ず村上、お前で勝つんだ』と信じて送り出し、使い続けた信念。決勝戦のソロホームラン。村上選手の復活劇が印象的でした。それに

何といっても、二刀流、大谷選手の大活躍。決勝戦前の円陣では、『今日はアメリカのスター選手に憧れるのは、やめよう。憧れている間は、その選手とチームを超えられないから、憧れるのはやめて、勝ちに行こう』とチームメイトに激を飛ばし、アメリカの9回最終打者で、エンジェルスとの対決。最後にストライクで勝負を決めた瞬間の大谷選手の喜ぶ表情。勝ちにこだわり続けた思いがあふれていました。私の大好きな言葉の一つ『信は力なり』を代弁するような日本チームの活躍であったと感じました。

だんだんと暖かくなり、春の装いが感じられる中、皆様くれぐれもご自愛下さい。

## サンライズの物語

何かもっとできることは無かったのか——

介護職として出来ることについて考える物語



その方は、肝臓癌に罹患し病院での治療を諦め自宅へ戻った方でした。肝臓の半分以上が癌に浸潤され余命宣告をされたとの事。

初回訪問の次の日に暫定の担当者会議を開催し訪問診療、訪問看護、訪問介護を利用すると一旦は元気を取り戻しヘルパーに「毎日来てもいいよ」と笑顔で挨拶する程になっていました。

しかし、翌週には傾眠が始まり朝方永遠の眠りについたのでした。最後までご家族に囲まれて息を引き取ったとのこと。

お悔みに訪問すると奥様より「本当に満足のいく看取りでした。もう少し介護の方々に関わっていたかった。主人も幸せだったと思います」お子様達も泣いてはおられましたが「父の最期に傍にいられしあわせな気持ちになりました」との言葉を聞いた時に胸が詰まり涙が零れました。

最愛の家族を見送ること・・・辛いことです。残された家族の気持ちが少しでも前を向けることに繋がればと願うばかりです。

毎回ご利用者様との別れのときに思うことは、介護職として、何かもっとできることはなかったのかと自問自答する気持ちだけが残ります。

# サンライズのデイサービス陽光だより



## 誕生日

誕生日カードを差し上げ、おやつでケーキを出しました。皆さん「ありがとう」「ケーキ美味しい」と言って喜んで召し上がられていました。



## 浅草に外出レク

浅草の浅草寺の桜を見に外出しました。桜の前で写真撮影してきました。



## NEWS 今月のニュース

### お年寄りの困り事解決、経営学 ぶ 周南公立大生3人が有料 サービス開始 買い物や掃除を 代行

周南公立大（山口県周南市）の学生3人が、お年寄りの困り事を解決する有料サービス「周南お助け隊」を始めた。買い物や掃除の代行を仕事として担い、高齢者との向き合い方や経営の基本を学ぶのが狙いだ。「若さと明るさが強み。一生懸命な仕事を続け、信頼を勝ち取りたい」と意気込む。

3人はいずれも経済学部3年で、代表の綿野匡さん（21）、川原理湖さん（21）、坂井駿介さん（21）。2

月に活動を始めた。買い物代行は3千円、掃除と草刈りは1時間5千円（移動のガソリン代や雑費込み）にした。同市のうち、主に旧新南陽市域と旧鹿野町域で引き受ける。新南陽商工会議所（同市）の力も借りてPRチラシを4千枚作った。

昨年、起業についての授業を受けたのがきっかけだ。「地域は高齢化が進んでいる。課題解決につながる仕事に可能性を感じた」と綿野さん。昨夏以降、小売店が手がける買い物代行に同行したり街頭で聞き取りをしたりして高齢者が抱く悩みに触れた。坂井さんは「お年寄りに尋ねると、息子たち家族が担うケースが多かった。需要はあるはず」とみる。

会社の設立は想定せず、経験を卒業後の就職などに役立てたい考え。川原さんは「父が営む会社に入社する予定。活動を通じて経営の基本も身につけたい」と話す。依頼を受け付けている。綿野さん☎080（8245）1462。（井上龍太郎）



今後について話し合う川原さん☎、綿野さん☎、坂井さん

<中国新聞デジタル 23/3/27(月)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>